



# ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 244  
July  
2013

## トピックス

### 国際会議への参加

¶ ミャンマー国「防災人材育成センター」ワークショップへの参画

¶ 台風委員会 第8回 防災作業部会への参加

### メンバー国との防災協力推進

日本アセアン統合基金プロジェクト「学校での防災教育の推進」の協議会の開催

### Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073  
神戸市中央区脇浜海岸通  
1-5-2 東館5F

Tel: 078-262-5540  
Fax: 078-262-5546  
editor@adrc.asia  
http://www.adrc.asia

© ADRC 2013

### ●国際会議への参加

#### ミャンマー国「防災人材育成センター」ワークショップへの参画

ミャンマー国は、2008年5月に、サイクロン・ナルギスにより死者・行方不明者合わせて13万人もの被害を被った後も、2010年の洪水・地すべり、2011年の地震、洪水などの自然災害に繰り返し見舞われてきました。

このため、ミャンマー国政府は「防災実施計画」を2012年に策定し、各種のプロジェクトを推進しているところですが、特に防災に携わる人材の育成と国民における防災意識の啓発のために「防災人材育成センター」(Disaster Management Training Center)を設立することとし、2013年からの3年間でセンター建物等を整備する計画です。

そして7月2日から4日にかけて、当該センターにおける訓練・教育内容についてミャンマー国政府に提案・助言を行うことを目的として、国際協力機構(JICA)、国連開発計画(UNDP)及びNPO法人シーズ・アジア等の支援により、ミャンマー国の新首都・ネーपीドー市内においてワークショップが開催されました。同ワークショップにはミャンマーを含むアジアの各国政府、国際機関及びNPOから延べ約80名が参加しましたが、アジア防災センター(ADRC)に対しても参加の要請があり、職員が1名出席しました。

ワークショップにおいては、シンガポール及びタイにおける防災職員の教育・訓練事業や、JICA、アジア災害予防センター等による国際間の人材育成事業の紹介がありました。ADRCからも、ミャンマー国政府職員の客員研究員としての日本招へいや、日本ASEAN統合基金に基づく地方政府職員向けの防災啓発事業等の実施を通じて、かねてから同国の防災に係る人材育成に貢献している旨を紹介しました。

今後、ワークショップにおける議論をもとに、センターにおける教育・訓練カリキュラムの具体的設計が行われることとなりますが、ADRCとしても、引き続きミャンマー国の人材育成に貢献したいと考えています。



### 台風委員会 第8回防災作業部会への参加

ADRCは、国連アジア太平洋経済社会委員会、世界気象機関台風委員会および韓国消防防災庁が主催する台風委員会第8回防災作業部会に参加しました。

会合には主催者をはじめとして、中国、日本、マレーシア、フィリピン、韓国、ベトナム、および香港やマカオといった特別



**続き**

行政区から防災担当者など約30名が出席し、アジア防災センターも協力している「沿岸地域における早期警報システムのための標準実施要領協同事業」をはじめとする本年度の活動計画および国際協力の強化等について活発な議論が行われました。

また、各国代表からは昨年度の災害発生状況や防災政策・技術などが発表され、情報を共有することでさらなるネットワークの強化につながりました。なお、台風委員会にはこの防災作業部会の他に気象、水文の各作業部会が設置されています。

**●メンバー国との防災協力推進****日本アセアン統合基金プロジェクト「学校での防災教育の推進」の協議会の開催  
(マレーシア、ブルネイ)**

ADRCは、2013年6月と7月に、マレーシアとブルネイのそれぞれの教育省において、日本アセアン統合基金プロジェクト「学校での防災教育の推進」に関する協議会を開催しました。両国の担当者と最新の災害情報や防災教育活動に関して情報共有を行い、本事業に関する今後の対応について意見交換を行いました。詳細な活動内容については、近日中に確認が行われる予定です。（本プロジェクトは日本アセアン統合基金プロジェクトの1つであり、アセアン10カ国において学校での防災教育を推進するための教員研修や研修を受けた教員による模擬授業の実施を目的としたものです。）

**問い合わせ・配信申し込み**

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は  
editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。